

枚方市と枚方市職員労働組合の団体交渉の要旨

1. 日 時 令和7年（2025年）6月17日（火） 午後7時40分～午後8時55分
2. 場 所 枚方市職員会館 大会議室
3. 出席者 組合側：執行委員長以下約30名
市 側：総務部長、総務部次長、人事課長、職員課長、教育政策課長、上下水道総務課長、市立ひらかた病院総務課長、書記（人事課・職員課 課長代理）
4. 課 題 「2025年予算・人員要求書」に基づく交渉（2回目）

<交渉内容要旨>

I. 次年度の職員採用について

組 合	市
・ 前回の第1回目の交渉を踏まえ、今交渉で示せるものはあるか。	・ 採用試験については、7月中から一次試験を実施し、採用規模については、育児休業や派遣等で長期欠員が生じる場合など、職場環境に著しく影響を及ぼすケースへの弾力的な対応なども踏まえ、115人程度と考えている。 主な募集職種は、事務職は大学卒、一般枠、資格枠として福祉など、そして、今年度から、本市の障害者雇用率を3.4%に引き上げたことから、障害者活躍推進計画の計画期間中に目標が達成できるよう、障害者枠を設ける。技術職は、土木職、建築職、化学職において大学卒、資格・経験枠の区分を設けたい。専門職は、保育士のほか保健師、心理士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士といった職種を予定している。現業職は、職のあり方や各職場における見直しの取り組みを踏まえると、大変厳しい状況だが、調理員の区分を設けたい。 また、年齢要件については、大学卒区分を除き、令和2年度から年齢制限を撤廃していたが、この間における採用状況等を踏まえ、事務職の一般職について年齢要件を44歳までに引き下げる。
・ 5年後に開設予定としている児童相談所については、開設に向けて採用が必要になると考えるが、今年度の115人程度の採用人数に含まれているのか。	・ 今年度の採用試験から計画的に人材を確保していきたいと考えている。

Ⅱ. 人員体制・配置について

組 合	市
・ 司書については、再任用の更新限度までに退職する職員や他団体の図書館を受験する職員もいる。採用職種の説明の中に司書はなかったが、今年度の採用について、115 人程度の採用人数に司書は含まれているのか。 ・ 採用の主な職種について説明があったが、作業員については言及されていない。作業員については、ここ数年採用がない。技術の継承や働きやすい職場環境づくりのためにも採用を強く求める。 ・ 他市では、上下水道設備などの老朽化による災害などが起こり課題となっているが、インフラの老朽化は本市においても同様の課題である。点検業務の実施などは、新卒の職員がすぐに行えるものでなく、人材を育てていく必要がある。技術者の採用は他市を含め民間との競争であり、人材確保に向けての取り組みが必要と考えるが、枚方市独自の取組を行っているのか。	・ 冒頭に説明した採用職種は主なものであり、他の職種同様、経過や職場の取り組み、退職の状況等を踏まえて、最後まで検討を重ねたい。 ・ 各職場における見直しの取り組みを踏まえると、大変厳しい状況ではあるが、最後まで検討を重ねたい。 ・ 関係部署と連携・協力し、職種に特化したパンフレットの作成やセミナーの開催、キャリア教育の受け入れなどを実施している。引き続き様々な観点からのアプローチを検討し、安定的な人材確保につなげていく。